

越境性動物疾病病原体の 侵入・感染ルートを探る!

日時：平成25年11月8日(金) 13:00～16:30

場所：鹿児島大学 農・獣医共通棟101号室

入場無料

開会挨拶

共同獣医学部長

13:00～13:20 鹿児島県の越境性動物疾病に対する新防疫体制

北野良夫 鹿児島県 獣医務技監

13:20～14:00 渡り鳥の飛来経路解明も含めた野鳥の
鳥インフルエンザに関する環境省の取り組み

根上 泰子 環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室 鳥獣専門官

14:00～14:40 吸血性節足動物と家畜のアルボウイルス感染症

梁瀬 徹 (独) 農研機構動物衛生研究所温暖地疾病研究領域 主任研究員

14:40～15:20 越境性動物疾病の侵入阻止～農場防疫の最前線～

橋本 信一郎 丸紅畜産(株) スーパーバイジング室 室長

15:20～16:00 豚サーコウイルス2型(PCV2)の
ワクチン接種によるPCV2の農場内コントロール
＝閉鎖型農場ピラミッド構築の重要性＝

出口 栄三郎 鹿児島大学共同獣医学部教授

16:00～ パネルディスカッション

閉会挨拶

共同獣医学部副学部長

主催：鹿児島大学共同獣医学部 附属TADセンター

後援：鹿児島県、宮崎大学(獣医学科)、鹿児島県獣医師会、

鹿児島県養鶏協会、南九州養豚会、南日本新聞

お問合せ：鹿児島大学共同獣医学部 附属TADセンター 小原 恭子

☎099-285-3589 ✉kkohara@vet.kagoshima-u.ac.jp

